

国際都市大連

日清、日露戦争の名残をとどめながらも日々目覚ましく発展していく大連。四月には大連国際マラソン、七月にはビール祭り、九月には大連国際ファッション祭りやダボス会議も行われるなど、国際都市ならではの行事も多彩だ。ダボス会議の会場となつた星海広場は、アジア一といわれる広大な敷地の中に

欧風の建物が
建ち並ぶ。春
には桃・桜・

校舎全景



中山広場



●中華人民共和国● **大連**
日本人学校

リラ・アカシアの花が咲き、夏には学校の眼下にある黄海が輝きを増す。秋にはリンゴの香りが漂い、冬には夜空に星が瞬く。現在、大連の人口は六〇〇万人弱で、日本からの進出企業は約四〇〇〇社、駐在する日本人は六〇〇〇人を超える。親日家が多い大連には、日本料理店も多く、いたるところで日本語の看板が目止まる。今後ますますな催しをとおし、「中日友好」のかけ橋、さらには世界有数の国際都市として着実に歩み続ける街である。

現地の教育環境

市内には、小学校が七〇〇校、中学校が二〇〇校あり、小中あるいは中高の一貫校もある。またアメリカ系やカナダ系のインターナショナルスクールもある。最近では日本語コースを設置する現地校が増えたり、市教育局や現地校から本校の授業や運動会等への視察があつたりと、日本の教育への関心が高く



修学旅行「北京天壇公園」

なっている。在留邦人の中には国際結



「7月集会」(幼稚園から中学部3年生までの縦割り活動)

目指せ
「世界一の日本人学校」!!

婚をしている家庭の子どもも少なくなく、本校には当地に在留する日本国籍の子どもの約四割が入学・編入学している。また、本校から現地校への進学はほとんどなく、大半が日本の高校か当地にあるインターナショナルスクールに進学する。

海辺の景勝地の高台に立つ航空会社の保養所を改築してつくられた本校は、教室の窓から青い海原を見渡すことができる。各教室では子どもたちの元気なあいさつが響き、笑顔がこぼれる。



書き初め大会



運動会「組み体操」



秋の縦割り遠足で大連
森林動物園へ（小学部）



子どもたちから

校外学習がたくさんあって大連のいろいろな所に行くんだよ。(小3)

学校のジャングルジムに登ったら

大連のきれいな海が見えます。(小6)

休み時間、のんびり海を眺めながらみんなの声を聞くのは楽しいです。(中2)

The Japanese School of Dalian

URL <http://www.japanda.org>

児童生徒数 幼=63人 小=177人 中=34人

風景絵画



先人が築き上げてきた素晴らしい伝統を守り、さらには日々邁進する大連の追い風を受けながら「力あふれる心豊かな世界に生きる国際人」を目指し、『世界一の日本人学校』を合意ことばに、今日も新たな教育に取り組んでいる。

本校の特色は大きく三つに分けることができます。一つ目は幼稚園・小学部・中学部の縦割り活動の充実である。秋の遠足や七月・十二月の集会では、五・六年生や中学部が企画・運営し、幼稚園児に優しく声をかける微笑ましい場面を見かける。運動会



では、中学部の紅白応援団長を中心に心が一つになる。各競技をとおり、児童生徒として教職員、保護者、地域の人たちの心と体が熱くなる瞬間が本校の自慢でもある。

二つ目は、中国文化理解である。現地校との交流は今年で十三周年を迎えた。名刺交換、合唱、合奏、和太鼓等とおして交流活動が行われる。文化の違い、ことばの壁はあっても子どもたちの表情には笑顔と満足感が漂う。そのほか校外学習として、大連市内の大学生や留学生と中日友好をテーマに交流が行われる。また戦前に日本の教育を受けた中日友好学会のかたがたに、先人から引き継がれた日清・日露戦争の体験談を聞く機会もある。さらにテレビ局見学やホテルでの職場体験、路面電車や公共バスに乗ってのフィールドワーク等も行う。このような現地の人たちとの交流は、生きた体験として子どもたちの心に深く刻まれるとともに、さらには未来に続く日中友好のかけ橋となるであろう。

三つ目は、学習指導・進路指導の充実である。本校では標準授業時数以上の年間二〇四日の授業日（土曜日の有効活用や夏季休業の縮小による）を確保し、確かな学力の育成に努めている。また、今年度も本校児童生徒向けに英検、漢検、外部テスト等を実施するなど、児童生徒と保護者の願いをしっかりと受け止めながら教育実践に取り組んでいる。

(二〇一一年九月現在)